

# ～外国人との共生～ ～防災意識の向上～

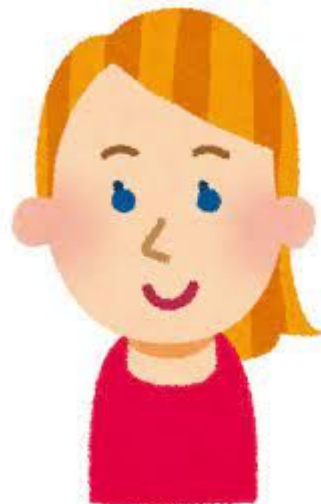
**荻田町立荻田中学校**



**KANDA  
SDGs**

人を 荻田を 地球を 想う  
～今こそ行動SDGs～

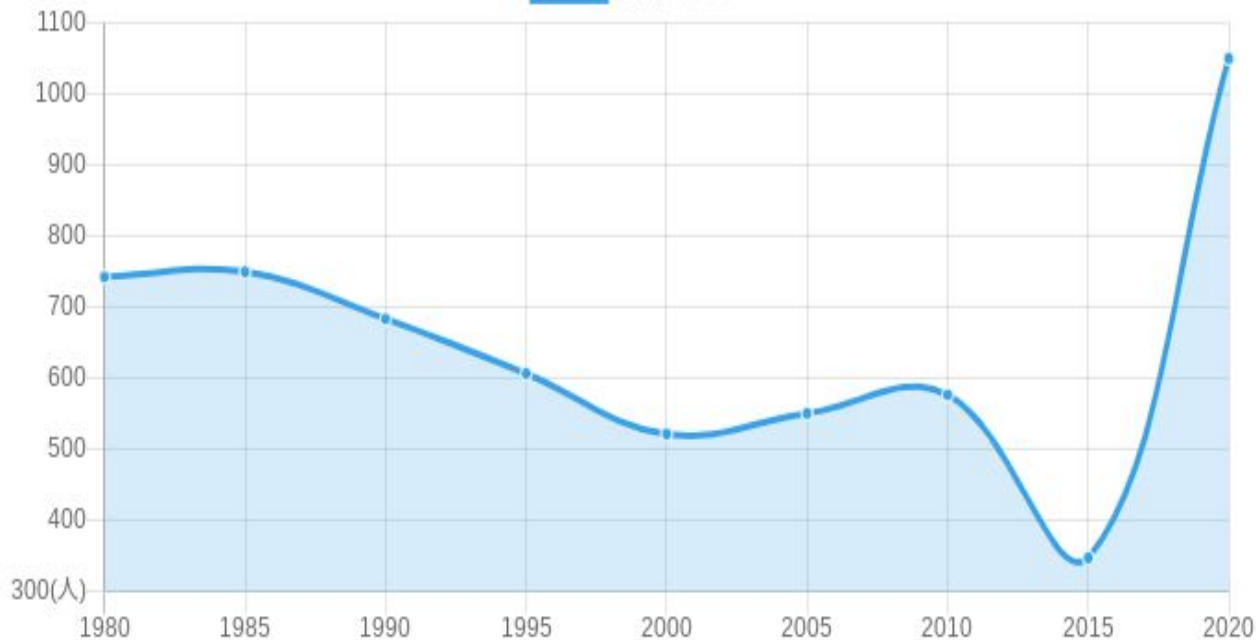
10 人や国の不平等  
をなくそう



# 苅田町の外国人人口

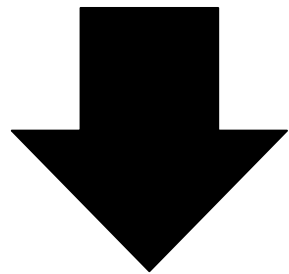
外国人人口  
推移グラフ(1980~2020年)  
(graphtochart.com作成)

外国人人口



現在、苅田町では、外国人の人口が**急増**。2020年には**1050人**という**過去に類を見ない**数の外国人が苅田町に在住していた。

現在も、苅田町の  
外国人人口は**増加**している！



苅田町において、将来この先も外  
国人の人口は増え続けると  
推測される。

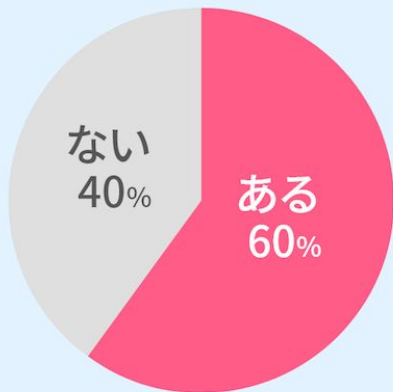
日本と外国の違い



# ゴミの出し方が 分からない

日本と外国のゴミの出し方は大きく違う。

日本でのルールやマナーを知らなくて困ったことはありますか？ (n=513)



知らなくて困ったルールやマナー



ゴミの捨て方



ビジネスマナー

日本でのルールやマナーを知らなくて困ったことがある外国人は、60%。

その中で最も多かったのが、「ゴミの捨て方」41%である。

# 「ゴミの出し方が分からない」→その具体例

自治体指定のゴミ袋があることを知らなかった。

ゴミを前日の夜に出してはいけないと知らなかった。

可燃ゴミと不燃ゴミの違いが分からなかった。

# ～提案～

・ゴミ箱・ゴミ袋にマークを付けたり、色で分けたりする

→日本人にだけでなく、外国人にも、  
るときに**分かりやすい**。

→ゴミ清掃員が、ゴミの回収を  
にくくなる。







# 13 気候変動に 具体的な対策を



# 自然災害による被害

近年全国で台風や地震、豪雨などの自然災害が多発しており、多くの被害が出ている。

九州でも**熊本地震**、**九州北部豪雨**、**西日本豪雨**など毎年大きな被害が発生している。

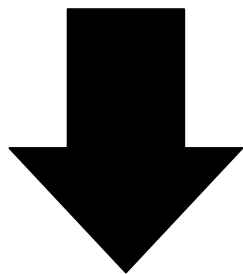


近年、刈田町でも自然災害が発生（平成 30 年 7 月豪雨）



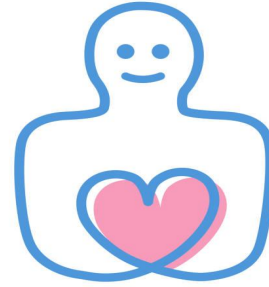
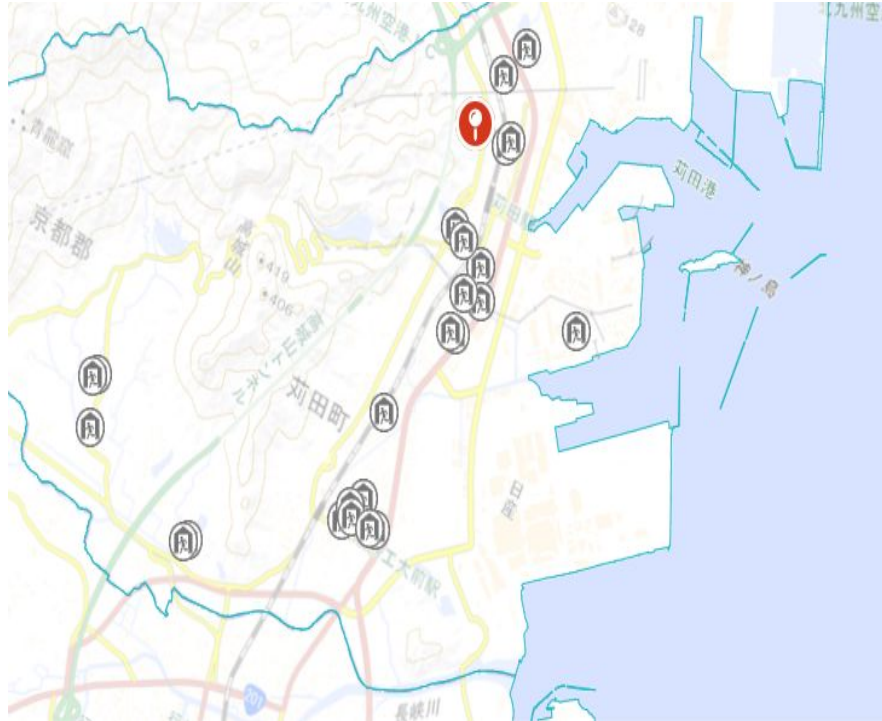
地震で倒壊した熊本県益城町の町並み  
(2016年4月16日) 写真/時事

福岡県でも毎年、多くの被害が  
発生している。



直ちに具体的な対策を **取**  
らなくてはいけない!!

## 現在の苅田町の避難場所



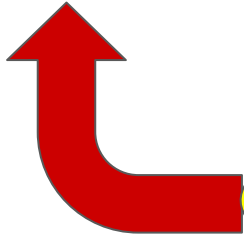
避難場所には**防災用品がない**ため、避難してきた人の不安は大きくなると予想される。

**防災倉庫**や**防災ベンチ**があるだけで、町民がより**安心・安全**に暮らすことができると考える。

# ～提案～

苅田町内の避難場所に**防災倉庫**や**防災ベンチ**を設置する。

大きな災害が発生したとき、命をつなぐ防災用品を保管しておくことができる。

- 
- ・救助や支援物資が届くまでの間、
  - ・水道や電気などのライフラインが復旧するまでの間、
  - ・避難場所に向かう道が開通するまでの間など。

# 防災倉庫の中身について



- ・医薬品（消毒液、包帯など）
- ・食糧（乾パン、お粥など）
- ・生活必需品  
（毛布、簡易トイレなど）
- ・その他  
（車椅子、担架など）



防災ベンチとは・・・**トイレ**や**かまど**などの機能を持ったベンチであり、通常時は普通のベンチとして活用することができる。

通常時



災害時



~提案~

苅田町独自の避難  
動計画表をつくり、

半年に一回のペー



避難行

をめる。



訓練を行う！



## 避難訓練について

問 訓練に参加して、どう思いましたか？

(回答数：983人)



・「体験することが大事。」

・「点呼方法やお年寄りの避難通路の確保を再確認したい。」

避難訓練参加において、「良かった」と思う人は全体の95%をしめていた。

## ～まとめ～

- ゴミ袋・ゴミ箱にマークや色を付ける
- 防災倉庫や防災ベンチを設ける
- 避難行動計画表を配布する
- 半年に一回程度の町民だけの避難訓練を実施する